

情報のプロはこう読む！新聞の正しい読み方(第5回)

魚の鮮度は「眼」で分かる。新聞は？(上)

2018.11.22



何はともあれ、まずは実際に新聞を手にとって観察してみましょう。ここでは全国紙(朝日新聞、読売新聞、毎日新聞、日本経済新聞)の朝刊について説明しますが、夕刊や地方紙でも基本的な構造はほとんど同じです。

まず、上部や右上にある「〇〇新聞」という題字が目に入ります。この題字があるのが新聞の1面で、ページ数でいうと1ページです。実際、左上の欄外に「1」と数字で示されています。ページをめくって、次の面以降に2、3、4……と続いていることを確認してください。

ページ数の右には、「版」という表記があるはずです。ほとんどの人は気にしたことがないと思いますが、実はこの数字が、新聞を読む際には非常に重要なのです。

というのも、新聞の「鮮度」はここを見ると分かるからです。魚の鮮度を「眼」を見て判断するように、ニュースのプロは必ず新聞を読む前に1面の「版」を確認します。

ここに14版と書かれていれば、その新聞が「最終版」であることを表しています。分かりやすく言うと一番新しいバージョンである、という意味です。記事の鮮度が高いわけですから、新聞として最も価値が高いといつていいでしょう。逆に、「13版」や「12版」と書かれている場合は、一番新しいバージョンではないわけです。

同じ日付でも早版と最終版では記事が違うことも… 続きを読む